

チームビルディングに活用してみましよう。

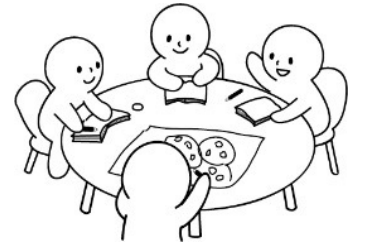
- ◆ 「コラボレーション・パターン」カードのデータを参加者の方が見られるように、JamboardやGoogleスライドに配置します。

(全部のカードを配置すると多いと感じる場合は、2~3枚のボードやスライドに分けても良いでしょう)

- ◆ 参加者の方にカードを眺めてもらい、お題にあったカードを1、2枚選んでもらいます。

<お題の例>

- ・ 「ピンときたカード」 (今の気持ちに合う内容を直感的に選んでもらいます。)
- ・ 「コラボレーションをしていく際に大切だなと思ったカード」
- ・ 「これは実践していると思うカード」



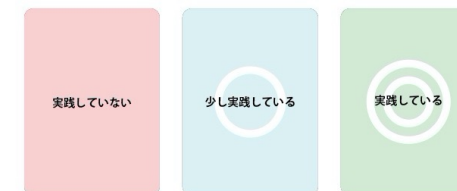
- ◆ ブレイクアウトルームの機能を利用し、1つのグループ4人~5人程度で、それぞれが選んだカードの内容とそれを選んだ理由やエピソードを話していきます。

2枚選んでもらった場合は、もう1周します。

- ◆ それぞれに話してもらって終わっても良いですし、もし、同じ組織内の方々と実施した場合には、そのグループの中で選ばれたカードの中から「これを大切にしていきたい」と思ったカードを全員で選んでもらい、組織やチームの目標などに設定することもできます。
- ◆ 最後に、各グループで話された内容を全体にシェアします。

振り返りやスキルアップに活用してみましよう。

- ◆ いずれかのパターン・カードのデータを参加者の方がオンライン上で動かせるように、JamboardやMiroなどに配置します。その際、右の3枚のカードを中心に置きます。



- ◆ 参加者の方にカードを眺めてもらい、お題を出します。

<お題の例>

- 「自分たちのチームは学び続けることができているか」 (ラーニング・パターン)
 - 「自分たちはうまくコラボレーションができているか」 (コラボレーション・パターン)
 - 「自分たちのチームのプレゼンテーションはどうだったか」 (プレゼンテーション・パターン)
- ◆ ブレイクアウトルームの機能を利用し、4人前後のグループに分かれます。その際、日ごろ一緒に仕事 (など) をしている方たちは同じグループにします。みんなでカードを1枚1枚動かしながら、自分たちのチーム内の実践について話し合い、「実践している」「少し実践している」「実践していない」の3つに分類していきます。分類後は、パターン一覧表に記入していくと良いでしょう。

一覧表のダウンロード : <https://creativeshift.co.jp/download/>
「実践状況把握を把握するためのレーダーチャート作成ツール」をご活用ください。

- ◆ 「実践していない」に分類されたカードの中から、これから「取り入れたい」カードをみんなで選びます。
※選んだカードに書かれている「ことば」を日常的に使うようにすると、効果的です。
- ◆ 最後に、各グループで話された内容を全体にシェアします。

プレゼンの良い事例を読み解いてみましょう。

- ◆ 「プレゼンテーション・パターン」カードのデータを参加者の方がオンライン上で動かせるように、JamboardやMiroなどに配置します。その際、右の3枚のカードを中心に置きます。



- ◆ 「TED」の動画など、優れたプレゼンテーション動画を一回全員で見ます。

「今見た動画の中で、このプレゼンテーション・パターンのうちどれが実践されていたかをカードを使って分析してみます」と伝えた上で、もう一度動画を見ます。二回目を流す前に、一度参加者それぞれがプレゼンテーション・パターンカードを眺める時間を取ると良いでしょう。

- ◆ ブレイクアウトルームの機能を利用し、1つのグループ4人~5人程度で、カードを1枚1枚動かしながら、「実践している」「少し実践している」「実践していない」の3つにみんなで話し合いながら分類していきます。

※見た動画（プレゼンター）の具体的な動きや展開とカード内容を結びつけることで、プレゼンテーションのコツを見つけることができます。

- ◆ 分類が終わったら、今度は自分に当てはめて考えてもらう時間を持つと良いでしょう。自分がプレゼンをする場合には「これを大切にしていきたい」などをグループ内で話し合ってもらいます。

- ◆ 最後に、各グループで話された内容を全体にシェアします。

